

夏休みの前に

川 村 暁 雄

2年前から人権教育研究室の室長として関わってきた「関西学院大学ハラスメント防止規程」がそろそろまとまってきました。うまくいけば、10月には決定し、来年度からはハラスメント相談センターができるかもしれません。

この規程が成立すれば、性的指向や性自認、人種や国籍などに基づく不当な発言や行動によって、学習・研究・学生生活などがつらくなった時に、相談に行くことができる窓口が生まれることになります。もちろん、実際にはなかなか行きにくいこともあるだろうけれど、大学としてどういう行動が「よくないこと」なのかをはっきり示すということは、それなりに意味があることだと思います。

通常、こうしたルールができた場合、腑に落ちる人と、納得できない（あるいは関心がない）人と両方生まれます。ただ、ルールはルールなので、納得できなかったり関心がなかったりする人も、ルール違反を咎められたくはないからある程度は守るでしょう。

でもルールだから守る、というのだけで終われば、少し残念です。多様性を受け入れることは、本人にとっても世界が広がりますし、いろんな発想や力につながっていくことだと思うからです。まあ、「奉仕のための練達」をモットーとする関学の教育なので、多様性を受け入れる人も決して少なくはないことでしょう。

さはさりながら、多様性を受け入れるためには、実際にいろんな人に出会うことが一番です。でも大学の教育だけでは本当に多様な人々に出会う場は十分ではないかもしれません。ということで、夏休みです。大学を卒業し、仕事に追われるようになれば、こんなに長期間休むことはできなくなります。学生の皆さんは、この機会に学生でなくてはできないことをいろいろチャレンジしてみたいいかがでしょう？円安で少し行きにくくなっていますが、この機会に海外に行くのもよいでしょう。国境、民族、言葉などさまざまな壁を越えて、同世代の人たちと簡単に仲良くなることができるのは、若者のみの特権でもあります。バイトで稼ぐのも必要でしょうが、やはり今の時間は相当貴重なはず。人生で4回しかない（かもしれない）大学の夏休みのその一回、ぜひ大切に過ごしていただければと思います。

(人間福祉学部教授)

7月16日(木) 聖和 Beautiful Names 田 淵 結 (教育学部宗教主事)

7月20日(月) 聖和 聖書物語 ヨナ

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:00～8:20 ランバス記念礼拝堂(上ケ原)
7月10日(金) 高大接続センターのために 北 原 和 明 (高大接続センター長)